

ポーランド政治・経済・社会情勢

(2014年11月6日～11月12日)

平成 26 年(2014 年)11 月 14 日

H E A D L I N E S

政治
 下院, シコルスキ下院議長の不信任決議を否決
 コパチ首相, 与党・市民プラットフォーム(PO)党首に就任
 ポーランド国内で独立記念日を祝福, 一部では暴力行為が発生
 スヘティナ外相, 下院にて2014年～15年の外交政策目標を発表
 モゲリーニEU外務・安全保障政策上級代表, ポーランドを訪問

経済
 外相がユーロ導入の時期設定は時期尚早と発言
 5人に1人が海外就労を希望
 医薬品の販売が増加
 ポーランドにおける人気自動車ブランド
 10月の自動車生産が10.4%低下
 欧州委員会がフィアット解雇労働者の再雇用支援を提案
 仏AREVA社が原子カプロジェクトに向けポーランド企業と契約
 天然ガス輸入のPGNiG社一社独占からの変化

大使館からのお知らせ
 領事アンケートへの御協力について
 教科書配布開始のお知らせ(平成26年度前期分)
 大使館広報文化センターの開館時間について
 東日本大震災義捐金受付について
 文化行事・大使館関連行事

在ポーランド日本国大使館
 ul.Szwolczerow 8, 00-464 Warszawa Tel:+48 22 696 5000
http://www.pl.emb-japan.go.jp/index_j.htm

【お願い】3か月以上滞在される場合、「在留届」を大使館に提出してください。大規模な事故・災害等が発生した場合、所在確認・救援の根拠となりません！
 問合せ先大使館領事部 電話 22 696 5005 Fax 5006 各種証明書、在外投票、旅券、戸籍・国籍関係の届出についてもどうぞ。

政 治

内 政

下院、シコルスキ下院議長の不信任決議を否決【6日・7日】

6日・7日、下院は、シコルスキ下院議長が米国メディアにおいて2008年のポーランド・露首脳会談にてプーチン露大統領がポーランドにウクライナ分割を呼びかけた旨発言した問題を巡って最大野党「法と正義」(PiS)が提出していた同下院議長の不信任決議の審議・採決を行い、同決議は賛成146票、反対240票、棄権48票の結果で否決された。

コパチ首相、与党・市民プラットフォーム(PO)党首に就任【8日】

8日、与党・市民プラットフォーム(PO)が党大会を開催し、12月1日に欧州理事会議長に就任するトゥスク前首相が党首を退任し、コパチ首相が新党首に就任した。なお、トゥスク前首相は、PO名誉党首の

地位に就任した。

ポーランド国内で独立記念日を祝福、一部では暴力行為が発生【11日】

11日の独立記念日に際して、ポーランド国内では計634の関連行事(行進及び集会等)が実施された。ワルシャワでは、午後にまずコモロフスキ大統領が主催する「独立のために共に」行進が行われ、大統領夫妻、上下両院議長、コパチ首相及びトゥスク前首相等が参加した。その後、同市内では民族主義的右派社会グループが主催する「独立行進」が行われたが、同行進参加者の一部が暴徒化し、最終的に276名が拘束され、75名が負傷する事態に発展した。他方、昨年のようなロシア大使館等の特定施設に対する暴力行為は発生しなかった。

外交・安全保障

スヘティナ外相、下院にて2014年～15年の外交政策目標を発表【6日】

6日、スヘティナ外相が下院にて「2014年～15年の外交政策目標に関する閣僚評議会報告」を発表し、安全保障、ウクライナ情勢及び対露関係、EU、欧州域内外の二国間外交の順に各政策目標を述べた。同外相は、ポーランドが現在1990年のGDPの230%の水準まで経済を成長させ、EU及びNATOにおいても信頼ある加盟国としての地位を有しているとの基本認識を示した上で、ポーランドは引き続き強いNATO及びEUの加盟国としての地位を強化し、またEU基金が終了する2020年以降の自国経済の発展のために欧州圏外の地域に対するグローバルな外交を重視していく旨述べた。なお、同外相は、日本に関し、同じ志を有する民主主義国家及び経済関係の更なる強化を希望する相手国として2回言及し

た。

モグリーニEU外務・安全保障政策上級代表、ポーランドを訪問【6日】

6日、モグリーニEU外務・安全保障政策上級代表が就任後初の訪問国としてポーランドを訪問し、コモロフスキ大統領、シェモニャク副首相兼国防相、スヘティナ外相と会談を行った。スヘティナ外相との会談においては、欧州近隣政策の改革、東方パートナーシップ、ウクライナ情勢及び対露関係を中心に意見交換が行われた。スヘティナ外相は、会談後に、EUの政策には効率性の向上及び迅速な政策実現能力が不可欠である、ポーランドはウクライナの和平対話に参加する用意がある旨述べた。

経 済

経済・財政政策

外相がユーロ導入の時期設定は時期尚早と発言【6日】

スヘティナ外相は下院で外交政策目標を発表し、ポーランドはEU域内市場及びEU基金の恩恵を最も受けている加盟国であり、EU加盟後GDPは約50%増加し、過去20年間不況を経験していないと述べ、ユーロ導入のためのマーストリヒト基準を達成し

つつあるが導入時期を設定するのは時期尚早であり、自国の経済改革を完了させるとともに経済通貨同盟の安定が確保されなければならないとした。また、2020以降にEU基金が停止されたとしても、経済が失速しないよう、EU域外の国際社会においてもプレゼンスを高めたいとの抱負を示している。

マクロ経済動向・統計

5人に1人が海外就労を希望【12日】

職探しのため5人に1人のポーランド人が外国に移

住するつもりであることが、最新の調査で分かった。このうち75%は35歳未満で、18～24歳も40%を占める。また、移住希望者の45%は地方の小都市に在住で、84%は外国の方が給与水準が高くそれが移住を希望する主な理由と回答している。

今年の医薬品の薬局への卸売りは前年比2%増となる244億ズロチまで増加し、また来年以降も2019年まで年6%程度増加することが予想されている。5%の追加補償を政府が導入したことが要因と見られるが、病院への卸売りにについては更に多くなっており、前年比16%増が見込まれている。

医薬品の販売が増加【12日】

ポーランド産業動向

ポーランドにおける人気自動車ブランド【6日】

1月から10月にかけて、ポーランドの乗用車の新車登録台数は、前年を15%上回る273,732台を記録した。このうち、個人の乗用車におけるブランド別の割合を見ると、首位はシュコダで11,760台(シェア11%)、第2位はトヨタの10,075台(同9.5%)、第3位はオペルであった。企業の保有する所謂社用車の方が個人よりも多い167,137台登録され、内訳では、首位がシュコダ(シェア15%)、第2位がフォルクスワーゲン(同10%)、第3位がトヨタが(同9%)であった。

の累計生産台数は、前年同期比0.58%減の491,420台であった。Samar Instituteは、減少幅は小さいものの、減産傾向は明らかであり、2014年年間の生産台数は前年を下回るだろうと予測している。

欧州委員会がフィアット解雇労働者の再雇用支援を提案【11日】

欧州委員会は、ポーランドに対し、フィアット・ポーランド社の欧州における生産縮小に伴う777名の失業者の再雇用支援のため、支援総額の約半分に当たる120万ユーロの拠出を提案した。この支援は欧州グローバル化調整基金(European Globalisation Adjustment Fund)から拠出されるものであり、失業者の技能訓練、起業支援、就学支援等に用いられる。

10月の自動車生産が10.4%低下【7日】

自動車関連調査 Samar Instituteによると、ポーランドの10月の自動車生産は43,814台で、前年同月比10.4%減、前月比では17.3%減であった。今年1月から10月にかけての乗用車・商用車

エネルギー・環境

仏AREVA社が原子力プロジェクトに向けポーランド企業と契約【6日】

フランスの国営企業EDF社とAreva社は、カトヴィツェで行われたビジネスイベントにあわせポーランドの5企業と原子力発電所建設に向けた契約を締結した。Areva社によれば、すでに30のポーランド企業が同社の欧州や中国での原発建設事業に携わっており、さらに、サプライチェーンに参加する企業として150社を特定しているという。

2日】

ポーランドのガス市場におけるPGNiG社の占有率が徐々に減ってきている。ポーランドに輸入されるガスの約12%は他社が手がけている。今年1月から9月の間にPGNiG社の国内シェアは6%減少し88.3%となった。これらは、EWE Polsk, DuonやHandenといった独立系の企業の供給が増えていることや化学工場が直接購入していることが考えられる。PGNiG社は、来年分の注文は11月末まで分からないため、どの程度の影響があるか分からないとしている。

天然ガス輸入のPGNiG社一社独占からの変化【1

大使館からのお知らせ

領事アンケートへの御協力について

当館では、在留邦人の皆様から当館の領事サービスに対するご意見、ご要望等をお伺いし、領事サービスの向上・改善に取り組んで参りたいと思っております。

お忙しい中恐縮ですが、下記リンクより、アンケート調査にご協力いただきますようお願い申し上げます。

<https://www.deliver.mofa.go.jp/m?f=1114>

教科書配布開始のお知らせ(平成26年度前期分)

現在、当館ホームページ上(<http://www.pl.emb-japan.go.jp/konsulat/documents/kyoukasho26.pdf>)にて、平

成 26 年度前期分の教科書配布をご案内しております。対象年齢のお子様がいいらっしゃる場合には無料で教科書を配布しております。受け取りを希望される場合には、その受取方法等をご確認いただければ幸いです。

大使館広報文化センターの開館時間について

月曜日 9:00 - 19:00 火曜～金曜日 9:00 - 17:00

当センターでは、日本関連行事や各種展示のほか、マンガコーナーを含む書籍の閲覧、本・CD・DVD等の貸出しを行っています。

イベント情報：<https://www.facebook.com/JapanEmb.Poland>

問合せ先：在ポーランド日本大使館広報文化センター（電話：22 584 73 00，E メール：info-cul@wr.mofa.go.jp，住所：Al. Ujazdowskie 51, Warszawa）

東日本大震災義捐金受付について

当館における東日本大震災義捐金受付は、平成 27 年 3 月 31 日（火）までに延長いたしました。詳しくは下記 HP をご覧下さい。

<http://www.pl.emb-japan.go.jp/jishin/gienkin.j.htm>

文化行事・大使館関連行事

【開催中】私の目で見えたポーランドの都市【10月～12月】

ヴロツワフ市にて、ナイーブ・民族アートギャラリー主催による絵画展『私の目で見えたポーランドの都市』が開催中です。阿山真也氏による作品が展示されています。

開催場所：ヴロツワフ市，ul. Kielbasnicza 31

【開催中】荒木経惟&パヴェウ・ヤシュチュックの写真展示会【11月7日（金）～12月14日（火）】

ワルシャワにて、ライカギャラリー主催による『荒木経惟 & パヴェウ・ヤシュチュック写真展示会』が開催されます。

開催場所：ワルシャワ，ライカギャラリー，ul. Mysia 3

詳細：<http://leica-camera.pl/aktualnosci/wydarzenia/araki-i-jaszczuk/>

【開催中】アジア映画祭「Five Flavours」【11月12日（水）～20日（木）】

ワルシャワにて、アジア映画祭「Five Flavours」が開催中です。中島哲也監督、三池崇史監督、SABU 監督、園子温監督の作品の他にもドキュメンタリー映画「Women of Fukushima」が上映されます。

開催場所：MURANOW 映画館，LUNA 映画館ほか

詳細（英語）：<http://www.piecsmakow.pl/index.do?lang=en>

【予定】日本文化デー ウッジ2014 【11月18日（火）～20日（木）】

ウッジ市にて、梅田良忠教授記念ポーランド日本語教育文化センター主催による『日本文化デー ウッジ2014』が開催されます。コンサート、日本についての講義、映画上映、折り紙、書道、水墨画、伝統的な遊び等のイベントが予定されています。

開催場所：ウッジ，Pl. Wolności 14

詳細：<http://bunka.org.pl/index.php?lang=en>

【予定】スカーレット・ドラゴントーナメント（紅中大会）【11月22日（土）～23日（日）】

ワルシャワにて、波蘭麻雀連盟主催による『スカーレット・ドラゴントーナメント（紅中大会）』が開催されます。日本の伝統ゲームの大会と茶道デモンストレーションが予定されています。

開催場所：ワルシャワ，Centrum Promocji Kultury Praga-Poludnie，ul. Podskarbinska 2

詳細：<https://www.facebook.com/MahjongPL>

この資料は、ポーランドの政治・社会情勢を中心に、各種報道をとりまとめたものです。報道をベースにしておりますので、記載事項の信頼性については責任を負いかねます。記載事項は在ポーランド日本国大使館の見解を示すものではなく、特定の団体・個人の利益を代表するものではありません。

皆様からの情報提供をお待ちしています

大使館では、読者の皆様に幅広くポーランドの情報をお伝えするため、皆様からの情報をお待ちしています。社会・生活情報やおすすめのイベント、困ったことなど、皆様に伝えたいと思われる情報があれば、下記のアドレスまでご連絡ください。（営利目的など、内容によっては対応できかねる場合もありますのでご了承ください。）

【お問い合わせ・配信登録】

本資料は、ポーランドに関心のある方であれば誰でも受け取ることができます。「新たに配信を受けたい」、「送付先メールアドレスを変更したい」、「配信を停止したい」等の依頼につきましては、下記のアドレスまでご連絡ください。

大使館ウェブサイト(http://www.pl.emb-japan.go.jp/index_j.htm)も併せて御覧ください。
[在ポーランド日本国大使館 newsml@wr.mofa.go.jp](mailto:newsml@wr.mofa.go.jp) (ご連絡は電子メールでお願いします。)